有償貸付事務の流れ

①地方公共団体等からの借受に対する問い合わせ

　↓　・借受希望期間、機械の調整

②地方公共団体等からの借受申請

　↓　・建設機械借受申請書（地方公共団体　→　四国技術事務所長）　１部

　↓　・建設機械借受（変更）申請書（借受者　→　四国技術事務所長）　１部

③局長承認手続き

　↓

④建設機械貸付契約の締結

　↓　・建設機械貸付契約書（借受者・四国技術事務所長）　２通

⑤貸付料の納入告知

　↓　・納入告知書送付（四国地方整備局総務部長　→　借受者）

⑥貸付料の納入確認

　↓　・納入告知書（金融機関の受払済印の有り）のＦＡＸ（借受者　→　四国技術事務所）

⑦建設機械の貸付

　↓　・建設機械借用書（借受者　→　四国技術事務所長）　２部

⑧建設機械の返納

　　　・建設機械返納書（借受者　→　四国技術事務所長）　２部

　　　・建設機械使用実績報告書（借受者　→　四国技術事務所長）　１部

※②～⑦までに要する期間は１ヶ月程度です。

※貸付料は全額前納となります。なお、貸付料は約150,000円／日です。

※オペレータの派遣はできません。

※年度をまたいでの貸付はできません。

令和○○年○○月○○日

四国地方整備局

四国技術事務所長　殿

○○土木事務所長

建設機械借受申請書

下記により、建設機械の貸付けを受けたいので申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 建設機械名 | 橋梁点検車 |
| 規格 | バケット式 |
| 貸付希望期間 | 自　令和○○年○○月○○日  至　令和○○年○○月○○日（○○日間） |
| 事業名 | ○○○○業務 |
| 請負者 | 株式会社○○○○ |
| 使用場所 | ○○県○○市○○町（○○橋）外○箇所 |
| その他 | 上記事業の請負者が借り受けを申請します。 |

※請負者との事業請負が確認できる書類を添付すること（契約書等）

別記様式8

建設機械借受（変更）申請書

令和○○年○○月○○日

分任物品管理官

四国地方整備局

四国技術事務所長　殿

申請者　住所　○○県○○市○○町○○

名称　株式会社○○○○

下記により、建設機械の貸付を受けたいので申請します。

記

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設機械名 | 橋梁点検車 | 規格 | バケット式 | 数量 | １台 |
| 貸付希望期間 | 自　令和　　年　　月　　日から  至　令和　　年　　月　　日まで　　　　　日間 | | | | |
| 派遣運転員の要否 | □必要　　・　　■不要 | | | | |
| 建設機械の使用場所 | ○○県○○市○○町（○○橋）外○箇所 | | | | |
| 建設機械の使用目的 | 橋梁点検に使用 | | | | |
| 建設機械を使用する事業の概要 | 国道○号の橋梁点検○橋 | | | | |
| 摘要 |  | | | | |

別記様式9

建設機械使用実績報告書

自　○○月　　　　自　○○月○○日

至　○○月　　　　至　○○月○○日

建設機械の貸付契約年月日　　令和○○年○○月○○日

現場監督員の認印　　○○　○○

借受者　住所　○○県○○市○○町○○

名称　株式会社○○○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設機械名 | 建設機械  番号 | 月別 | 主な作業内容 | 主な作業  の作業量 | 稼働状況 | | 維持修理費 | 主な修理箇所及  び取替部品名 | 摘要 |
| 運転日数 | 運転時間 |
| 橋梁点検車 | R01-1811 | 月 | 橋梁点検 | km | 日 | 時間 | 千円 |  |  |
| 月 |  | Km | 日 | 時間 | 千円 |  |  |
| 月 |  | km | 日 | 時間 | 千円 |  |  |
| 小計 |  | Km | 日 | 時間 | 千円 |  |  |
|  |  | 月 |  | Km |  |  |  |  |  |
| 月 |  | Km |  |  |  |  |  |
| 月 |  | Km |  |  |  |  |  |
| 小計 |  | km |  |  |  |  |  |

備考１．用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

　　２．主な作業内容の欄は、貸付機械を２工種以上の異なる作業に使用したときは運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。

　　３．主な作業の作業量の欄は、走行距離を記入する。

　　４．運転時間の欄は、運転時間の管理のできない機械又は管理の必要のない機械については記入を省略することができる。

　　５．運転ミス又は不慮の事故に伴う修理で、当該修理に要した費用が3000千円を超えるときは修理内容の詳細な説明を添付する。

令和○○年○○月○○日

分任物品管理官

四国地方整備局

四国技術事務所長　殿

借受者　住所　○○県○○市○○町○○

名称　株式会社○○○○

建設機械借用（返納）書

○○○○業務にする（した）下記建設機械を機能現況確認のうえ、受領（返納）しました。

記

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 機械名 | | 橋梁点検車 | 規格 | バケット式 | 建設機械番号 | R01-1811 |
| 機　能　現　況 | 主機関 | 異常なし | | | | |
| 伝動系統 | 〃 | | | | |
| 走行系統 | 〃 | | | | |
| 作業装置 | 〃 | | | | |
| その他 | 〃 | | | | |
| 備考 | |  | | | | |

立会者（国土交通省側）　○○○○　印

　　　（借受者側）　○○○○　印